

～多文化共生×防災～

地域防災拠点と連携した災害時外国人支援を考えるセミナーを開催します

在住外国人の多い地域である、**中区埋地地区**の**旧富士見中学校地域防災拠点**（運営委員長：藤平 保之氏）と連携し、災害時の外国人支援について日本人・外国人がともに考えるセミナーを開催します。当日の様子につきまして、ぜひご取材ください。

※公募型のセミナーではないため、当日の一般の方の参加は受け付けておりません。

<概要>

事業名：多文化共生セミナー「地域での外国人への災害時対応を、ともに考える」

日時：令和6年12月8日（日）10時00分～12時00分

会場：横浜吉田中学校第二校舎体育館（旧富士見中学校体育館）

※中区山田町3-9

参加者：約30名

（旧富士見中地域防災拠点関係者、在住外国人、災害時通訳・翻訳ボランティア 他）

内容：講義「災害時に外国人が直面する課題と地域活動者に求められる役割」、グループワーク

<講師プロフィール>



まつもと よしひろ
松本 義弘 氏

一般社団法人 国際多文化研修ラボ 代表理事

一般財団法人 自治体国際化協会（CLAIR）地域国際化推進アドバイザー

防災士（認定特定非営利活動法人 日本防災士機構認証）

横須賀市役所に38年勤務（国際交流課に10年）

<中区埋地地区の特徴>

- ・外国人人口が中区内で最も多いエリア（右図④）
- ・地区内の5人に1人が外国人。外国人の割合が、5割を超えている地域もあります。
- ・国籍・地域別では、中国が7割を占め、韓国、台湾、フィリピンの順に続いています。

（統計情報は平成31年3月末時点）



（出典：第4期中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」）

※取材をご希望の場合は、**12月5日（木）17時**までに別紙「取材申込書」をメールで送付ください。

お問い合わせ先

国際局政策総務課多文化共生担当課長 廣瀬 綾子 Tel 045-671-4718



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



取材申込書

【締切】令和6年12月5日（木）17時

【送付先】ki-tabunka@city.yokohama.lg.jp（国際局政策総務課多文化共生担当）

貴社名（部署名）	
ご担当者	
当日の取材人数	
ご連絡先	電話（当日連絡先）：
	メールアドレス：
掲載紙・番組名	
発行・放送予定日	月 日 /未定
備考	

【留意事項】

参加者の個別の取材（撮影）はご遠慮いただいております。

何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。